



令和元年11月14日
陸幕広報室

国内における米海兵隊との実動訓練（フォレストライト（MA））の概要について

陸上自衛隊は、下記のとおり国内における米海兵隊との実動訓練（フォレストライト（MA））を実施します。

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動（指揮機関訓練を含む。）により訓練し、連携強化及び共同対処能力の向上を図る。

2 期間

令和元年12月1日（日）～12月13日（金）

3 場所

饗庭野演習場、国分台演習場、日本原演習場、今津駐屯地及び明野駐屯地

4 担任官

(1) 陸上自衛隊

第13旅団長 陸将補 やまね としかず 山根 寿一

(2) 米海兵隊

第3海兵師団長 少将 ウィリアム M ジャーニー (William M. Journey)

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

ア 部隊

第13旅団第8普通科連隊基幹（約450名）

イ 装備品

89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃MINIMI、81mm迫撃砲、120mm迫撃砲、01式軽対戦車誘導弾、87式対戦車誘導弾、対人狙撃銃、74式戦車、航空機（UH-1、AH-1）等

(2) 米海兵隊

ア 部隊

(ア) 第3海兵師団 第4海兵連隊 第1-25大隊基幹（約220名）

(イ) 第1海兵航空団 第36海兵航空群 第262飛行隊（約80名）

イ 装備品

5.56mm小銃、7.62mm中機関銃、7.62mm狙撃銃、対戦車ロケット砲、60mm迫撃砲、81mm迫撃砲、航空機（MV-22）等

6 特 色

- (1) 日米航空機による長距離機動等、迅速な機動展開を重視し、複数の演習場を使用した訓練の実施
- (2) 平成28年9月の日米合同委員会合意に基づく、MV-22の訓練移転を組み込んだ事業としての実施

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、三井（担当）

（03-3268-3111 内線40084）